

ひとわざ(一技)名: 『最先端研究設備』で技術的・学術的な研究をサポート

1. 概要

信州大学は、長野県内の4県域に広がるキャンパスを活かし、地域の行政・産業界等との連携体制を構築しています。今回は、本学の2つの取組みを中心に紹介します。

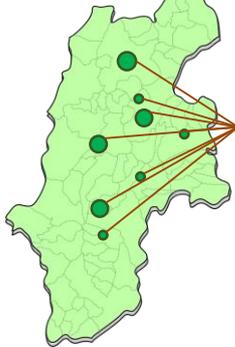
コアファシリティ構築支援プログラム 分析機器等を、機関全体の研究基盤として戦略的に導入・更新・共用する仕組みを強化(コアファシリティ化)する取組みです。研究設備予約システム(SimpRent)を使って希望する分析機器を検索・予約できます。他機関との連携として、信州共用機器ネットワーク(SHINE)の取組みも進めています。

マテリアル先端リサーチインフラ事業(ARIM) 国内25機関の設備を共用するとともに、データ駆動による材料開発をも促します。信州大学では電子顕微鏡などによる分析支援と、有機材料、ナノ材料の合成支援を行います。本学スタッフがノウハウを含めてサポートいたします。

写真・図(要点説明)

コアファシリティ構築支援プログラム

信州共用機器ネットワーク(SHINE)



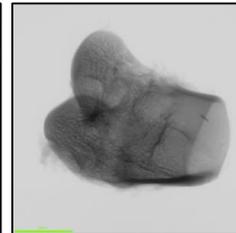
SHINE

- 県内すべての国公立大学11機関
- 公設2機関
- 高専等3機関

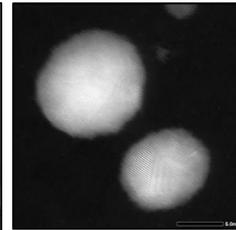


現在、研究設備予約システム(SimpRent)で県内225設備が検索予約可能

マテリアル先端リサーチインフラ事業(ARIM)



3次元高分解能X線顕微鏡



原子分解能解析電子顕微鏡

高分解能の分析機器で開発を支援

2. 企業概況

フリガナ	コクリツダイガクホウジンシンシュウダイガク	フリガナ	ナカムラ ソウイチロウ
会社名	国立大学法人信州大学	代表者名	中村 宗一郎
		フリガナ	ケンキュウスイシンブ サンガクカンチイケンケイカ
事業内容	教育研究・地域貢献	窓口担当	研究推進部 産学官地域連携課
主要製品	—		
フリガナ	ナガノケン マツモトシ アサヒ		
住所	〒390-8621 長野県松本市旭3-1-1		
電話/FAX	0263-37-2099 / 0263-37-3049	E-mail	su-event@shinshu-u.ac.jp
資本金(百万円)	—	設立年月	1949年5月
		売上(百万円)	—
		従業員数	—

特記事項(①特許取得・各種認証等取得状況②提供できる価値及び応用分野③SDGsへの取り組み 他

◆信州大学基盤研究支援センターコアファシリティ推進室

(機器のご利用の際は、専門知識を持った技術職員のサポートや研究に関する技術相談も受け付けております)

<https://shinshu.simprent.jp>

◆マテリアル先端リサーチインフラ事業(ARIM)

(各種ナノ材料、有機・無機新材料の探索・開発を目指している方をサポートいたします)

<https://www.shinshu-u.ac.jp/institution/rism/arim/>

◆信州大学ホームページ

<https://www.shinshu-u.ac.jp/>